

TAISEI株式会社

2023 年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 6月 1日 ~ 2024年 5月 31日)



発行日: 2024年6月27日

目 次

項 目	ページ
ごあいさつ	3
環境経営方針	3
組織の概要	4
事業の紹介	4
環境経営組織図及び役割・責任・権限	5
主な環境負荷の実績	6
環境経営目標及びその実績	6
環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組	7
各事業所の取組紹介	10
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果, 並びに違反, 訴訟の有無	11
緊急事態対応の試行・訓練	11
代表者による全体の評価と見直し・指示	12

ごあいさつ

私たちは1919年(大正8年)の創業以来、紙から生まれる文化を耕しながら、独自の技術と感性を磨いてきました。そして現在、私たちのビジョンは「もっと明るくもっと楽しくもっと美しく彩りある未来をつくる」こと。世の中をカラフルに描く「彩り創造カンパニー」として、紙だからできることをカタチにしていくのが使命です。紙は人に親しみ易く、環境に優しく、社会に安らぎと豊かな風合いをもたらしてくれます。デザインは喜びを、印刷は彩りを、加工技術は新たな価値を創り出してくれます。私たちはこれからも紙の可能性を追求し、紙ならではの特性を活かした商品開発を推進し、紙の文化に根ざした唯一無二の世界を創り上げてまいります。同時に、どんな時でも決して変わらない大切な想いがあります。それはお客様に喜んでいただき、信用を積み重ねること。そして、社員やパートナーの皆さんが会社とともに成長し、笑顔の輪が広がっていくことです。新たな100年も進化を続けるTAISEIを、これからも温かく見守っていただけますと幸いです。今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

環境経営方針

私たちは本業である印刷紙器・紙製品の企画・開発・製造を通じて、地球温暖化問題に対しグローバルとローカルの両視点からアプローチを行い、全社を挙げて環境経営に取り組んでまいります。エコなデザイン設計、脱プラスチックに貢献する紙容器の開発、エコ素材の活用と提案、効率的で高品質な製造体制を実現することで、環境負荷低減を図ると同時に、従業員一丸となって継続的な改善を図ってまいります。

環境保全への行動指針

1. 環境関連法規を遵守すると共にエコアクション21の環境経営方針に定めた環境方針の取組を実現します。
2. 創意工夫による省エネルギー等により二酸化炭素排出量の削減に努めます。
3. 廃棄ロスをなくし、リサイクル性の高い材料を使用し廃棄物の発生抑制に努めます。
4. 節水を呼びかけ、適正な利用により水使用量の削減に努めます。
5. リスクアセスメントを実施し、有機溶剤など適正管理に努めます。
6. 環境に配慮した材料や加工を用いて製造した商品をお客様にお届けします。
7. 職場だけでなく、家庭、地域社会に対し環境保全の貢献活動に努めます。



制定日：2022年6月9日
改定日：2023年5月31日

代表取締役社長

細水 雄一郎

組 織 の 概 要

(1) 名称及び代表者名

TAISEI株式会社

代表取締役社長 細水 雄一郎

(2) 所在地

本社 大阪府東大阪市高井田西1丁目3-22

東京支社 東京都千代田区内神田2丁目5-5

大阪支店 大阪府大阪市中央区南船場2丁目3-2

名古屋営業所 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目28-12

福岡営業所 福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目27-25

奈良工場 奈良県大和郡山市椎木町311 (昭和工業団地)

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 管理部本部長 小林 啓二 TEL : 06 - 6783 - 0331

担当者 管理部 小林 啓二 TEL : 06 - 6783 - 0331

(4) 事業内容

印刷紙器の設計・製造

(5) 事業の規模

売上高 2,416 百万円 (2022年売上)

	本社	東京支社	大阪支店	合計
従業員 名	4 名	11 名	7 名	
延べ床面積 m ²	335.76 m ²	183.5 m ²	83.15 m ²	
	名古屋営業所	福岡営業所	奈良工場	
従業員 名	3 名	0 名	46 名	71 名
延べ床面積 m ²	6.5 m ²	2.1 m ²	3716.27 m ²	4327.28 m ²

(6) 事業年度 6 月 1 日 ~ 5 月 31 日

□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： TAISEI株式会社

対象事業所： 本社

東京支社

大阪支店

名古屋営業所

福岡営業所

奈良工場

活動： 印刷紙器の設計・製造

□事業の紹介

当社は1919年に紙器製造業として創業し、104年目を迎える現在も、進化と挑戦を続ける古くて新しい老舗の成長企業です。印刷やパッケージだけの世界に留まらない多種多様な商材を、企画から製造までワンストップで行うことでお客様の様々なお困り事を解決して参りました。

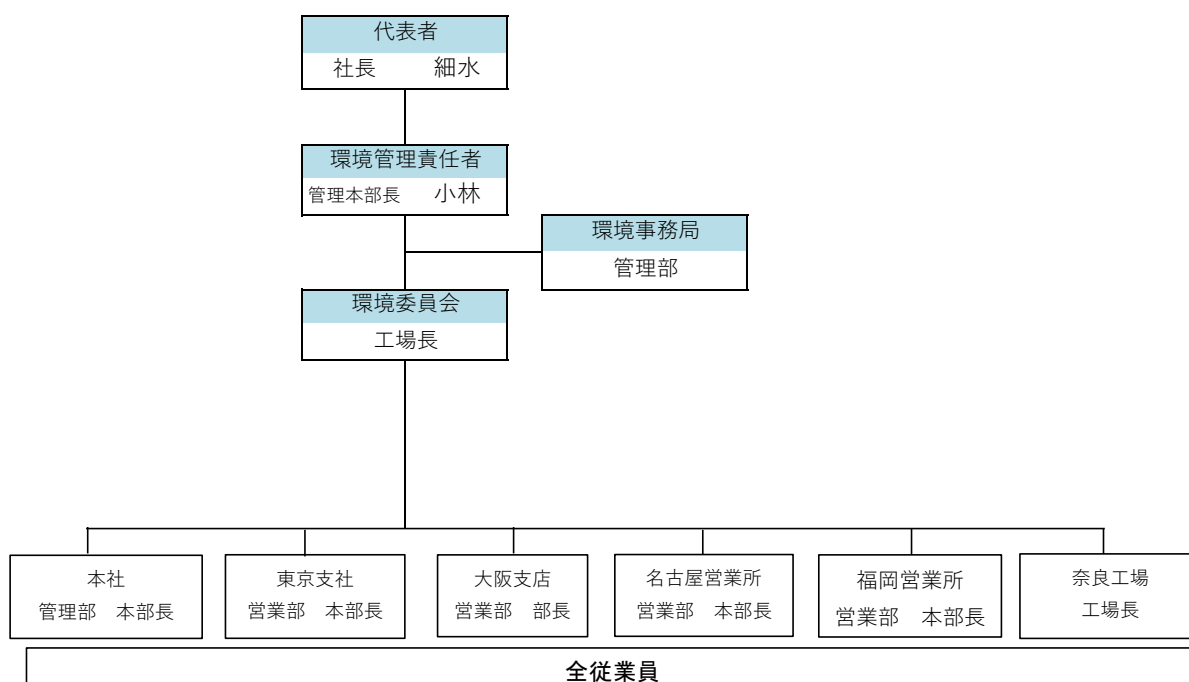
弊社の提供する美粧性の高い「紙管」、「レーザーカット」などの製品は、おかげ様で様々な業界のお客様にご評価を頂いております。

また、2017年8月には、創業当時の屋号を掲げた自社ブランド「大成紙器製作所」を立ち上げ、紙器の道具「紙器具」を提案。

長年培いました印刷・加工の技術やネットワークを生かし、紙から生まれる文化を耕しながら作り手と使い手をつなげる試みを目指しております。

さっそく新発想のポチ袋「POCHI-PON」が大ヒットし、様々なメディアで大きな話題となっております。

環境経営組織及び役割・責任・権限



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定・見直し ・環境経営目標・環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直し、指示 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を承認 ・環境経営目標・環境経営計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、環境委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営レポートの作成、公開(事務所に備え付けと地域事務局への送付)
環境委員会	・環境経営計画の審議 ・環境活動実績の確認・評価
部門長	・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 ・自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 ・試行・訓練を実施、記録の作成
全従業員	・環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	209,990	205,434	201,110
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	2,145	2,187	2,395
産業廃棄物排出量	トン	17,568	13,850	21,140
水使用量	m ³	2,889	2,237	1,967

※関西電力2021年度調整後排出係数 0.311 kg-CO₂/kWh

二酸化炭素総排出量には目標を設定していないLPGと灯油による二酸化炭素排出量が含まれます。

環境経営目標及びその実績

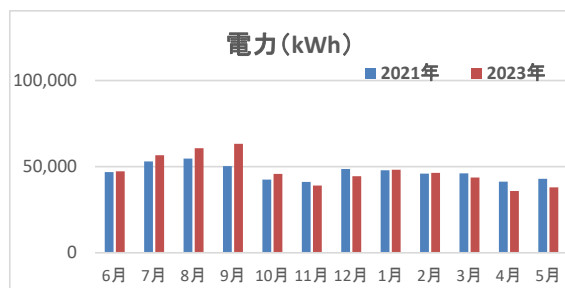
項 目	年 度	基準値 (基準年)	2023年		評価	2024年 (目標)	2025年 (目標)
			(目標)	(実績)			
電力による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	174,556	167,573	177,091	×	164,082	160,591
	基準年度比	2021年	96%	101%		94%	92%
	原単位 Kg-CO ₂ /千円	0.958	0.919	0.324	○	0.900	0.881
都市ガスによる二酸化炭素削減	kg-CO ₂	6,060	5,939	7,144	×	5,818	5,696
	基準年度比	2021年	98%	118%		96%	94%
	原単位 Kg-CO ₂ /千円	0.034	0.033	0.022	○	0.032	0.032
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	15,784	15,152	12,326	○	14,837	14,521
	基準年度比	2021年	96%	78%		94%	92%
	原単位 Kg-CO ₂ /千円	0.086	0.082	0.019	○	0.081	0.079
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	196,399	188,664	196,561		184,736	180,809
一般廃棄物の削減	kg	2,145	2,059	2,395	×	2,016	1,973
	基準年度比	2021年	96%	112%		94%	92%
	原単位 kg/千円	0.012	0.011	0.004	○	0.011	0.011
産業廃棄物の削減	t	17,568	16,865	21,140	×	16,514	16,163
	基準年度比	2021年	96%	120%		94%	92%
	原単位 t/千円	0.092	0.088	0.021	○	0.086	0.085
水道水の削減	m ³	2,889	2,600	1,967	○	2,513	2,456
	基準年度比	2021年	90%	68%		87%	85%
	原単位 m ³ /千円	0.016	0.014	0.003	○	0.014	0.013
環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	行動目標(次項による)						

環境経営計画の取組結果とその評価・次年度の取組

数値目標: ○達成 ×未達成

活動: ○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	全社的に活動量が増えている中で、効率的に電力を使用できていると評価できると思います。奈良工場の旧モデルのエアコンも変更しましたので、季節的な電力量の増加も今後抑えられると推測されます。個々の活動としとしても引き続き無駄のない電気利用を継続したい。
事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している	○	
空調機のフィルターの定期的な清掃・交換など、適正に管理している	○	



取組紹介欄



デマンド監視システム

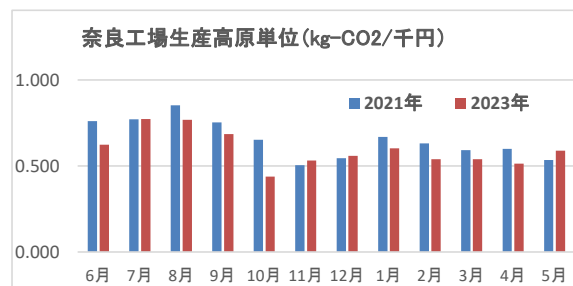
デマンド監視システムを導入し、デマンドの使用状況を見える化しております。設定値に対し、青⇒緑⇒黄⇒赤の順でランプやディスプレイの表情に変化があり状況が分かり、状況に合わせて機器の使用調整を行います。

数値 kWh

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	46,886	53,085	54,691	50,329	42,493	41,054	48,659	47,884	45,944	46,121	41,245	42,881
2023年	47,354	56,577	60,766	63,323	45,771	39,091	44,389	48,140	46,410	43,718	35,902	37,982

原単位 Kg-CO2/千円

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.081	0.104	0.079	0.091	0.075	0.056	0.073	0.081	0.085	0.068	0.064	0.100
2023年	0.071	0.082	0.091	0.080	0.060	0.043	0.053	0.083	0.066	0.058	0.055	0.082
評価	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○



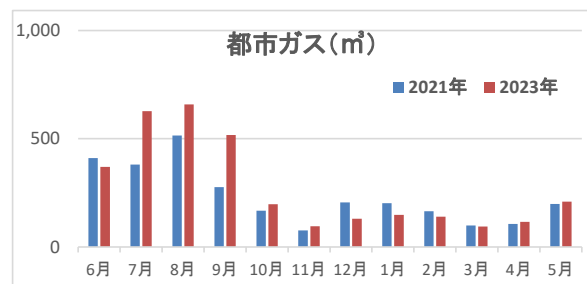
取組紹介欄

ラインの整備、部署間の導線の整備を行うことで生産性を向上させて作業時間(電気使用時間)の短縮を図っております。

原単位 Kg-CO2/千円(奈良工場)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.761	0.772	0.853	0.753	0.652	0.504	0.546	0.668	0.631	0.592	0.600	0.535
2023年	0.623	0.773	0.768	0.685	0.438	0.531	0.559	0.603	0.540	0.539	0.514	0.589
評価	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×

都市ガスによる二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	コロナ禍にあった基準年との状況の違いに苦戦する項目となったが、冬期にウォームビズで抑えることができたのはよかった、引き続き継続するとともに、東京支社の夏場において使用量が大きくなっておりますので、クールビズや残業時間の削減など、効率的な働き方の推進によりガスの効率的利用を推進していきたい。
夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着(ウォームビズ)など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている	○	

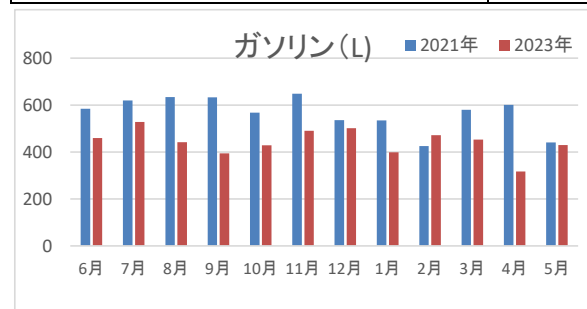


取組紹介欄

ウォームビズ、クールビズの効果をより上げるため、ビジネスカジュアルを導入し、防寒、防暑対策の幅を広げる。

数値 m³	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	411	381	515	276	168	76	206	202	165	99	106	198
2023年	370	628	659	518	198	95	131	148	140	95	116	209
原単位 Kg-CO2/千円	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.005	0.005	0.005	0.003	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.001	0.001	0.003
2023年	0.004	0.006	0.007	0.005	0.002	0.001	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.003
評価	○	×	×	×	○	×	○	○	○	○	×	○

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	人員も増加し、活動量、活動エリアも増加しておりますが、公共交通機関をメインに活動し、レンタカーの利用なども効率を意識しながら利用をしていきたい。営業の人員増が大きなマイナス要素とはなっていないのは評価できると思われる。
公共交通機関の利用などにより、社用車の使用削減に努めている	○	

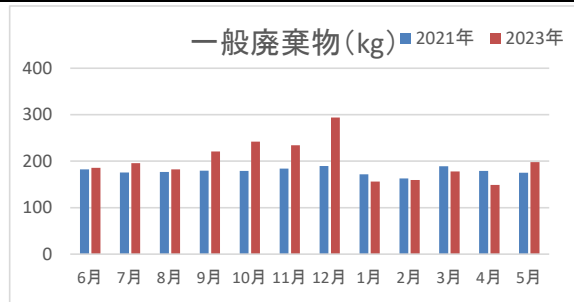


取組紹介欄

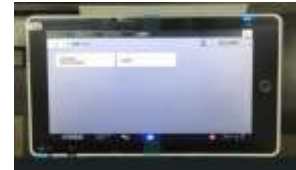
大阪支店、名古屋営業所を公共交通機関の利用効率の高い場所へ移転し、公共交通機関の利用を促進させています。同時に社用車での通勤もなくし、ガソリンの使用量削減につながっています。

数値 L	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	584	620	634	632	567	648	535	535	425	580	601	441
2023年	459	528	442	394	429	490	502	399	471	453	317	429
原単位 Kg-CO2/千円	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.007	0.009	0.007	0.009	0.007	0.007	0.006	0.007	0.006	0.006	0.007	0.008
2023年	0.005	0.006	0.005	0.004	0.004	0.004	0.004	0.005	0.005	0.004	0.004	0.007
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	数値としては増加しておりますが、コロナ後の拡大した活動状況を原単位評価しますと目標値を達成しております。しかしながら数値としても削減すべき部分がないか検証して数値としても基準年に近づくように改善をしたい。
社内LAN、データベースなどの利用による文書の電子化に取り組んでいる	○	
コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤りなどのミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットしている	○	



取組紹介欄



PC側と複合機側の二段階でプリントアウト内容の確認

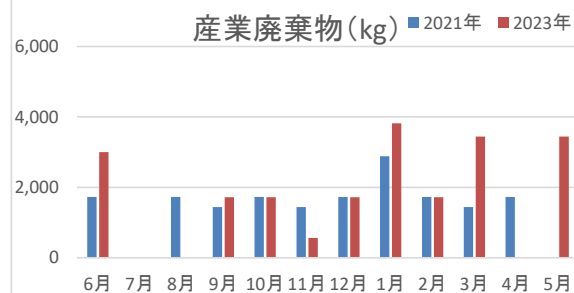
数値 Kg

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	183	176	177	180	179	184	190	172	163	189	179	175
2023年	186	196	182	221	242	234	294	156	159	178	149	198

原単位 Kg/千円

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.0010	0.0011	0.0008	0.0010	0.0010	0.0008	0.0009	0.0009	0.0010	0.0009	0.0009	0.0013
2023年	0.0009	0.0018	0.0027	0.0036	0.0046	0.0054	0.0066	0.0074	0.0082	0.0089	0.0097	0.0110
評価	○	○	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×

産業廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	第3四半期から期末にかけて、大規模に奈良工場の環境整備を行ったため、産廃の排出量が増え、目標未達となってしまいました。しかしながら製造ロスが大きく削減されており、よい状態にあると思います。場内の美化は意識的な効果もありますし、整った生産現場はミスを防ぎます。引き続き品質を高め廃棄物の削減を行っていきます。
廃棄物の分別を徹底をし、可能な場合は売却している	○	
加工ミスによるロスの低減に努めている	△	



取組紹介欄

リサイクル分別表やゴミの処分方法の一覧表を作成し、周知することで可能なものはリサイクルへ適性に処分するようにしています。
また、本業である製造におきましても、不適合が起これば、必ず原因を突き詰め、加工ミスによるロスの低減活動を行っております。

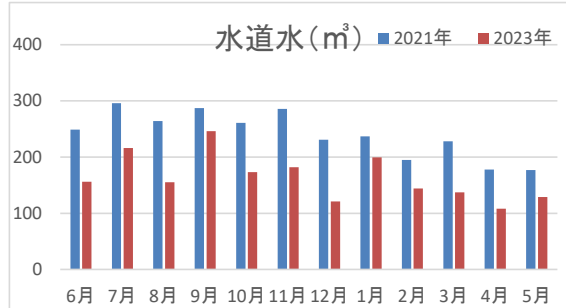
数値 kg

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	1,728	0	1,728	1,440	1,728	1,440	1,728	2,880	1,728	1,440	1,728	0
2023年	3,000	0	0	1,720	1,720	560	1,720	3,820	1,720	3,440	0	3,440

原単位 kg/千円

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.010	0.000	0.008	0.008	0.010	0.006	0.008	0.016	0.010	0.007	0.009	0.000
2023年	0.014	0.000	0.000	0.007	0.007	0.002	0.007	0.021	0.008	0.015	0.000	0.024
評価	×	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
原単位目標	○	水道水の利用は良い方向で削減できております。次年度においては製版工程において無処理版の導入を検討しており、導入後は版の洗浄液ほどの削減効果ではないものの水量にもよい影響がでるものと思われます。
節水呼びかけの表示をしている	○	



取組紹介欄



社内掲示ポスター

数値 m³

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	249	296	264	287	261	286	231	237	195	228	178	177
2023年	156	216	155	246	173	182	121	199	144	137	108	129
原単位 m³/千円												
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
2021年	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
2023年	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

化学物質の適正管理	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・リスクアセスメントの実施	○	化学物質については一部削減できているものもあり、順調かと思われる。次年度においては現在予定している無処理版などを導入することにより、製版工程の洗浄液の削減が見込まれる。
・従業員教育	○	
・代替物質の検討	○	
・適性管理の実施	○	

環境に配慮した製品・サービスへの取り組み	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
調達する原材料について、認証品（森林認証、漁業認証など）の活用を指向している	○	FSC認証製品は市場にマッチしており今期は基準年比較258%と順調に拡大傾向にあります。その他、箱内で製品を固定するプリスターをプラから紙に置き換えたペーパープレスや製造プロセスで生じる廃棄物を紙に混ぜてアップサイクルする混抄紙など新しい環境配慮商材の展開を行っており、次年度拡大させていきたいと思います。

各事業所の取組紹介

＜本社＞

- ・オフィスカジュアルを導入し、各自が暑さ寒さを衣類にて、ある程度調整できるようにしています。
- ・デマンド監視システムを導入し、電気の使用量をコントロールしています。
- ・事務所の電気を個別化し、必要分のみ点灯できるようにしています。
- ・紙ゴミを分別し、リサイクルしております。

＜東京支社＞

- ・オフィスカジュアルを導入し、各自が暑さ寒さを衣類にて、調整できるようにしています。
- ・電車での営業をメインに行い、自動車燃料からの二酸化炭素の削減しております。

＜大阪支店＞

- ・オフィスカジュアルを導入し、各自が暑さ寒さを衣類にて、調整できるようにしています。
- ・電車での営業をメインに行い、自動車燃料からの二酸化炭素の削減しております。

＜名古屋営業所＞

- ・オフィスカジュアルを導入し、各自が暑さ寒さを衣類にて、調整できるようにしています。
- ・電車での営業をメインに行い、自動車燃料からの二酸化炭素の削減しております。

＜奈良工場＞

- ・デマンド監視システムを導入し、電気の使用量をコントロールしています。
- ・紙のゴミを分別し、リサイクルしております。
- ・場内の旧エアコンを省エネモデルに入替を行いました。

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物
騒音規制法	印刷機、圧縮機
振動規制法	印刷機、圧縮機
水質汚濁防止法	自動式感光膜付印刷版現像洗浄施設
フロン排出抑制法	業務用空調機、エアド라이어

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

直近1年間におきまして近隣からの苦情・要請はございませんでした。

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023.6.6	■実施場所： 本社
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
大阪支店より1名人事異動がありましたので改めて消火設備の使用の確認を行い、避難経路の確認も全員で行いました。	
■設備の状況	
	

緊急事態の想定： 火災の発生	
■実施日： 2023.11.16	■実施場所： 大阪支店
■実施内容： ☐ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
ビルの避難訓練に参加、防災訓練と避難訓練の後、心肺蘇生、AEDの使用に関するレクチャーを受けました。	
■評価：	
今回新しくAEDの使用方法などを聞くことができたのが良かった。参加できなかった他社員用に周知資料を作成してもらい周知も行う。	
	

緊急事態の想定: 火災の発生	
■実施日: 2024年1月5日	■実施場所: 奈良工場
■実施内容: ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	
■評価:	
手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし	
今回は部門の責任者への研修も兼ね、部分訓練とし、各責任社の担当領域を確認いたしました。	

代表者による全体の評価と見直し・指示

実施日: 2024年6月25日

前期は基準年(前々期)がコロナ禍の影響を受けていたため、当初の目標と現実において大きな乖離が見受けられる部分もあった。しかし今期はコロナ収束後の推移動向と課題をより定量的に把握することができた。そのため短期・中長期の目標もより明確になってきている。

全員が同じフォーマットの上で数値に基づいて考える良い機会が生まれており、前年比における精度も上がっていることで、組織として未来のあるべき姿をより具体的にイメージできるようになりつつある。

デマンドシステムによる見える化も導入から複数年を経ることでより経験値が増し、さらに効果を最大化し易い環境が整備できている。自動車燃料においては電車営業の定着によって削減した状況を、良い状態で維持することができている。今後は一部まだ使用している車の買い替え時期において、電気自動車など環境負荷軽減に繋がる車種の導入を検討していきたい。

廃棄物もファックスのデータ化や会議資料の電子化が全社的に定着した。しかし製造部門においては、オフセット印刷時に使用するプレート版の無処理版化が2024年8月まで導入予定が遅れており、今期中に導入を果たせなかったことは大いなる反省点である。

ただし古いエアコンを環境性能の高い新しいエアコンに入れ替えたことや、工場の大規模リノベーションを行って動線を大幅に改善することができたことは、今後さまざまな側面からプラスの環境効果に繋がっていくと考えている。

お客様にお届けする紙器の製造においては、環境に配慮したFSC認証商品の受注が毎年拡大し続けており、今期においても認証取得企業として納品まで全て滞りなく適切に対応することができた。またお客様が商品を製造する際に出してしまう廃棄物を紙に混ぜることでアップサイクルする「混抄紙」の抄造を、当社としてオリジナルでは初めて行って納品まで問題なく対応・実績化することもできた。さらにはプリスターに変わる脱プラスチックアイテムであるペーパープレスも複数受注することに成功し、日本で初めて世に出すという実績を作ることができた。

今後はこれらの受注を拡大して基盤を固めていくフェーズに入ると考えている。来期は紙への置き換えによる脱プラスチックをさらに強く推進するとともに、組織のエコに対するアクションもより高みを目指して結果にコミットしていきたい。

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり